

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	理工学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 修士及び博士学位取得基準と達成学習目標を2010年度中に明文化し、公表する	→公表したホームページ。	D
2. 最先端の研究を遂行することにより教育を活性化させる。	→科研費やプロジェクト研究への申請及び採択件数。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

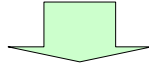
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.1.1	(方針) 修士課程・博士課程の教育目標を明示し、教育目標と学位授与方針との整合性を示すとともに修得すべき内容についても明示する。また研究成果や教育活動を活性化させる外部予算の採択状況を公表する。 (現状説明) 生命科学専攻、情報科学専攻では専攻ごとの取り決めとして修士課程・博士課程の基準が設けられた。他の専攻においても概ね策定は終了した。
☆ 小項目6.1.2	(現状説明) 各専攻共通で入学時に履修ガイダンスを行い、科目区分、必修・選択の区別、単位数等について解説し履修指導している。教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成については各専攻ごとに調整中である。
☆ 小項目6.1.3	調整段階であるためHP等、外部への公表は行われていない。
☆ 小項目6.1.4	教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性の検証は、十分に行われているとはいえない。学科拡大に伴い、研究科における研究分野も拡大している。大学院委員会で定期的な検証が望まれる。
☆ その他	2009年度の大型プロジェクトとして2件のJST、1件のNEDO、5件の文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（旧私立大学学術研究高度化推進事業を含む）、39件の科研費が採択された。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



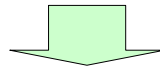
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○評価項目6.1は、教育目標等を研究科として定めて学内外に明示・公表し、説明責任を果たしているかを主として問うものです。「策定して明示・公表しているかどうか」の観点から、「目標」2、「現状説明」6.1.1および6.1.2の再検討が望まれます。

【学内委員】

○科研費やプロジェクト研究等の採択数は概ね評価できるものと思われませんが、評価基準となる件数をどこかで記載することが期待されます。

○教育目標、学位授与方針は調整中のため公表できていないとのことですが、調整段階まで来ている中で「D」評価は適切でしょうか。

○研究科内の専攻ごとで教育目標や学位授与方針などが策定され、教育課程の編成が進められていますが、策定状況や編成状況にずれがあり、また外部への公表も進んでいないため、早い時期にずれを調整し公表することが求められます。さらに、それらの内容についての検証も十分に行われておらず、定期的な検証を行う仕組み作りをする必要があります。一方、科研費などの外部研究費への申請は積極的であり、また採択数も多数に上っている点は、大いに評価できます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

<個別的な指標>
